

農福連携

野菜の王様「にんにく」でパワー全開！

活動の経緯

高齢化や後継者不足により、管理されていない畑が増加している。中には国や県の事業により整理された畑が、何年も手つかずになっていることもあり、地域農業の担い手になることを考えた。

また、手作業に頼ることが多い農業に就労の機会を求めている障害者に従事してもらうことで、双方の利益になると考え障害者支援施設を立ち上げた。

活動の概要

水耕栽培での「にんにく」を主軸に障害者の働く場所を確保し、六次産業化を目指すことで障害者の多様な働き方の実現を目指す。



発芽ニンニクを使った加工品



スーパーマーケットでの販売

活動の成果、主な実績等

- ・農産物栽培と作業場を兼ねたハウスを整備して、にんにくの水耕栽培を開始。現在までに、障害者12名を雇用している。
- ・生産技術向上のため、同様の栽培に取り組んでいる先進事例農場の視察及び、農業コンサルタントや農業者を招へいして技術指導を受けた。このことにより、生産量や品質が安定しつつあり、飲食店等の小口納入先のみならず、スーパーマーケットなどの大規模市場への販売も可能となってきた。
- ・障害者以外にも地域ボランティア名の方も活躍している。
- ・さらなる販路拡大に向け、イベントでのPRやネット販売を開始。また、職員2名が食品衛生管理者の資格を取得し、加工食品の商品開発も行っている。
- ・飲食店を開業し、自らが生産した農産物のほか近隣農家から規格外の農作物を購入し、農家の所得向上に貢献している。